

北海道留寿都高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	農業体験をとおして自分の良さを知り、前向きに進路実現を図る態度を育てます。	農業の楽しさを知り、他者と協働で活動することができた。	進路への意識や活動について、さらなる向上を目指したい。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	コミュニケーション能力を高め、多様な考え方を認める生徒の育成を図ります。	地域との交流を通して、他を思いやろうとする心を育てることができた。	積極的に情報を発信し、地域とのかかわりに誇りを持つ体験を充実させたい。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	地域にあった新しい特産物の可能性の探究を図ります。	アイズプラント、コールラビ、カメリナなど新しい作目の栽培可能性や適性を確認できた。	さらに、多くの作物の可能性を探り、地域との協力体制を形成したい。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	食の大切さを学び、食農教育の実践をとおして地域に貢献します。	地域との交流をとおし、フードロス問題や農業生産の大切さを伝えることができた。	さらに生徒が主体的に学び、提案や活動できるようなきっかけ作りを行いたい。	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	循環型農業の実践をとおして、地域の自然を守る態度を育成します。	たい肥や有機資材の有効性を実感するとともに、豊かな自然環境の大切さを知ることができた。	科学的な観点を踏まえた自然の仕組みを体系的に学べる学習環境を作りたい。	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	地域の子供たちとの交流を推進し、農業の大切さを伝えます。	地域の子供たちとの農業体験を通じて、農業を教えることの喜びを知ることができた。	農業と命の関わりをさらに深く学び、伝えていく姿勢を育成したい。	5
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	I C T環境を有効に活用し、前向きに取り組む姿勢や能力を育成します。	I C Tを生かし、できる体験を実感する機会を得ることができた。	I C Tでできることとできないことを知り、有効な利用方法を考える態度を育てたい。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	G A P教育を活用し、安心安全な環境や地域作りに貢献します。	J G A P認証への活動をとおして、農場の安全性が環境づくりと深いかわりがあることを知ることができた。	農業と自然環境の関わりを改めて学び、これからの農業の方向性を考える姿勢を高めたい。	5